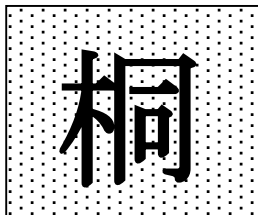


大東文化学園
教職員組合連合機関紙
第 1044 号 ver. 2
2011 年 12 月 5 日発行



E-MAIL: daito-un@boreas.dti.ne.jp
http://www.boreas.dti.ne.jp/daito-un/
p/f (03) 3935-9505

本号の内容

◆◆ 2010/2011 年度大東文化大学教職員組合定例総会開催される ◆◆

【重要】組合新役員信任投票と規約等改正に関する投票のお願い

◇春闘経過報告◇

◇センター入試業務のための宿泊費：補助金支給決定◇

◇アルバイト職員への交通費：支給を前提に詳細を交渉予定◇

新代議員募集中！ 新しい力を組合へ！

2010/2011 年度大東文化大学教職員組合定例総会開催される

大東文化大学教職員組合 2011 年定例総会が、11 月 28 日（月）板橋校舎 2 号館 0219 会議室において開催された。

6 時 45 分、定刻を過ぎたのを承けて堀川書記次長が集会の開会を宣言し、続いて沼口執行委員会委員長から挨拶がなされた。その後、堀川書記次長の司会の下で議長の選出がおこなわれ、船木正文氏(教育学科)が選出された。

次いで、議長の指名により、前田書記長が第一号議案「2010／2011 年度活動報告」について報告を行った。総会はこの報告を受けた後、質疑応答を経て、これを挙手で承認した。

とりわけ、出席組合員から 2-2-(1)教員定年(65 歳)切り下げ撤回問題の緊急性についての指摘がなされたことを承け、今後の方針を早急に決定する旨執行委員長から発言があった。また、法科大学院の閉校後の教員の処遇についての組合の姿勢を問う質問もなされ、広く組合員の意見を募りたい旨書記長から回答された。

この途中で、出席者 41 名、委任状 86 通（有効数 82）、計 123 名となり組合員総数の二分の一以上の出席により総会が成立している（規約 15 条）旨の報告が執行委員長からなされた。

第二号議案「2010／2011 年度会計報告・会計監査報告」は兵頭執行委員と会計監査松尾氏がそれぞれ報告を行い、質疑応答を経て、総会はこのを挙手により承認した。

第三号議案「2011／2012 年度活動方針案」は、沼口委員長が提案と趣旨説明を行い、質疑応答を経て、総会はこのを挙手により承認した。

なお、議案書の訂正が 2 点あり、まず、p.26 の（4）連合との関係の項の第 1～3 行を次

のように差し替えられた。「今年度は第一高校組合からは、連合副委員長・書記長を選出することになった。高校・大学の要求内容の重点のズレを調整するうえで好都合であると思われる」 また、p.25 の 3(2)教育教研集会の項の 6 行目「青い空」が「日本の青空」に訂正された。

第四号議案「2011／2012 年度予算案」について、兵頭執行委員により提案がなされ、質疑応答を経て、総会はこれを挙手により承認した。

次に、「大東文化大学教職員組合規約」の改正（第四十一条②③）に関して、美留町執行委員より、また、「大東文化大学教職員組合慶弔見舞金等規定」の改正（第三条）に関して、前田書記長により、それぞれ改正案が提示され、質疑応答を経て、総会はこれを投票により承認した。

続いて、「大東文化大学教職員組合書記局員の就業に関する取り決め」の改正について、前田書記長より改正案が提案され、質疑応答を経て、一部修正・再提案の上、総会はこれを拍手により承認した。

以上で議案審議を終え、議事は選挙管理委員会の選出に移った。立候補者がいなかったため、執行委員会を代表して沼口執行委員より、中井睦美氏(教育学科)、北澤恒人氏(環境創造学科)、山口直人氏(中国語学科)、内田知行氏(国際関係学科)、花輪宗命氏(社会経済学科)、以上 5 名の推薦があった。次いで選挙管理委員長の互選が行われ、中井氏が委員長に選出された。

以上で、定例総会予定の議事が全て終了したため、船木議長が拍手で解任され、次期執行委員と監査委員の選出について選挙管理委員にゆだねる旨表明された。その後、選挙管理委員会の下で投票が行われ、欠席者及び途中退席者について郵送での投票を行う旨、説明があった。

最後に首藤執行委員が閉会の辞を述べて、午後 9 時 17 分、総会は閉会した。 (S. A)

毎年総会の成立が危ぶまれる事態が続いてきましたが、辛うじて成立要件を満たした今回の総会においては、この点の打開の道を探るべきことを改めて痛感させられました。この件につきまして、また、組合活動全般につきまして、組合員のみなさまからのご提案をお寄せいただければ幸いです。

「書記局員の就業に関する取り決め」の改正についての質疑の際、執行委員からの質問が出され、執行委員会からの提案について委員会で事前に十分な議論が行われたかどうかを疑わせるような一幕もありました。今期執行委員会の大きな課題がうかがわれたとも言えます。新執行委員会体制においてはこの課題の克服に向けて一步でも前進があることを願いつつ、総会にご参加・ご協力くださいました全ての組合員のみなさまに心から感謝申し上げます。

(書記局)

■■■【重要】大学組合のみなさまへ■■■

組合新役員信任投票と規約等改正に関する投票のお願い

組合規約第十四条ならびに第十五条により、組合新役員信任のための直接投票及び規約等改正に関する直接投票を行います。総会を欠席されました方、また中途にて退席され、上記投票をなさらなかった方は、同封の投票用紙にてご投票ください。

(該当のみなさまには投票用紙と返信用封筒を同封させていただいております。)

<投票の仕方>

投票用紙 2 通は同封の中封筒（切手無しのハترون紙の封筒）に入れ、教職員組合宛返信封筒（切手添付のもの）にて 12 月 19 日（月）必着にてご返送ください。返信用封筒（切手添付）には投票者確認のため、ご住所・ご氏名を必ずご記入ください。

返信用封筒にご記入いただきましたご住所・お名前は投票返信督促を行う際に既返信者を除くための情報としてのみ使用し、使用後は廃棄いたします。中封筒は無記名となりますので、投票内容に対する匿名性は守られます。よろしくご協力のほど、お願い申し上げます。

組合新役員信任投票及び規約等改正に関する投票締切

12 月 19 日（月）必着

今回の総会にあたって、執行委員会より提案いたしました規約改正の趣旨は以下のとおりです。規約改正案は前号 1043 号に同封させていただきましたものをご参照ください。

1. 大東文化大学教職員組合規約 第四十一条 改正の趣旨

特任教員の組合費設定を、給与に占める組合費の割合として他の専任教員と同様とする措置をとってこなかった点を是正すべく、②を追加する。俸給月額の 0.6% を組合費としている現状では、専任教員としての最高号俸に達した組合員の組合費よりも高額の組合費を特任教員から徴収することとなっており、不合理であった。

2. 大東文化大学教職員組合慶弔見舞金等規程 第三条 改正の趣旨

組合員である期間を長く保った組合員への謝意の表明・退職の祝いとしての退職記念金贈呈の趣旨に鑑み、組合員であった期間が 3 年未満であった組合員への贈呈を廃止し、組合員であった期間が 3 年以上の退職者を贈呈の対象とする。

上記の趣旨をご理解くださいまして、規約改正に関する投票にご協力くださいますよう、なにとぞよろしくお願い申し上げます。なお、1 の改正がご承認いただけた場合、改正後の適正な額と既に納入された組合費との差額を該当組合員に返還いたします。また、投票が成立し承認がなされ次第、改正規約が発効いたします。

(書記局)

■■■大学組合組合員のみなさまへ■■■

新代議員募集中！ 新しい力を組合へ！

代議員は、全ての学科・職場からそれぞれ 1 名出すことができます。候補となるにあたっては、自薦・他薦を問いません。お近くの執行委員または代議員、書記局にお問い合わせいただけましたら、選出の手続きその他について詳細をご説明させていただきます。各学科・職場でのご検討もどうぞよろしくお願いいたします。ご連絡をお待ちいたします。

(書記局)

＜春闘経過報告＞

センター入試業務のための宿泊費：補助金支給決定

アルバイト職員への交通費：支給を前提に詳細を交渉予定

本紙前号 1042 号でお伝えしたとおり、団体交渉において組合はアルバイト職員の交通費支給、臨時・嘱託職員の忌引き休暇等拡充、センター入試業務手当及び宿泊費補助を要求してきましたが、11 月 14 日、以下 2 点について理事会からの回答書が到達しました。

内容は、センター入試業務のための宿泊費の補助として業務の前日の宿泊 1 泊につき 1500 円（学内宿泊施設利用料金と同額）を教員・職員に支給する、アルバイト職員の交通費を支給する（ただし通学定期等で交通費支出が可能な勤務地での学生アルバイトを除く）とのものでした。前者については、組合がこれを受け入れ、直ちに必要な手続きに入ることとなりました。後者については、アルバイト職員への交通費支給の方向が示されたことは歓迎できるものの、支給開始時期に関する理事会回答が 2012 年 4 月以後の出勤に対してとのものだったため、次回団交（12 月 13 日開催予定）においてより早期に支給を開始するよう求めるとともに、支給要件の詳細を交渉することとしました。

他の案件についても次回団交にて引き続き交渉の予定です。今後ともご支援をどうぞよろしくお願いいたします。

(書記局)

本紙は大学組合 web サイト <http://www.boreas.dti.ne.jp/daito-un/> にも掲載しています。併せてご利用いただければ幸いです。

本紙へのご投稿、ご意見、ご質問は daito-un@boreas.dti.ne.jp にお寄せください。